

宮城県一迫川上流域

〔一迫川・河原小屋沢・伊豆根沢〕



地形地質 一迫川上流域では台地状の地形に谷が切り込んでいるため、急斜面が沢沿いに発達した地形となっています。地質は軽石凝灰岩・凝灰角礫岩の上に溶結凝灰岩が分布しているのが特徴です。

被災状況 大規模な岩盤崩壊・深層崩壊が多数発生し、河道閉塞が複数形成されました。溪流・山腹ともに著しく荒廃しており、山腹崩壊箇所数は全流域で最も多く751箇所、約1,467万m³もの不安定土砂が発生しています。



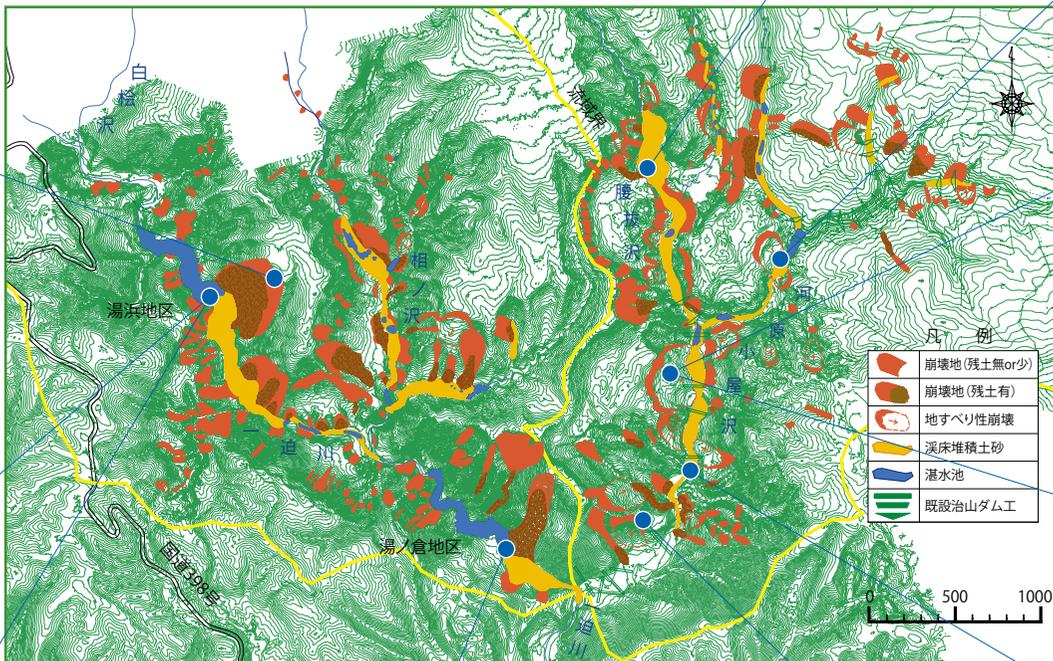
腰抜沢 山腹崩壊状況



河原小屋沢 河道閉塞による湛水状況



湯浜地区 左岸側の山腹崩壊と河道閉塞状況



※荒廃現況図 代表的な区域と山腹崩壊地を掲載



河原小屋沢 山腹崩壊と河道閉塞状況



湯浜地区 崩落した土砂による河道閉塞状況



河原小屋沢 山腹崩壊地内の荒廃状況



湯浜地区 河道閉塞による湛水状況



一迫川湯ノ倉地区 山腹崩壊と河道閉塞状況



河原小屋沢 山腹崩壊群



河原小屋沢 山腹崩壊と溪流荒廃状況(下流域より上流方向を望む)